第4号
令和4年早春
2022年3月発行
GOOD NEWS

札幌市西区生活支援体制整備事業広報誌

つなぐぅ

つなぐぅでは支え合いのまちづくり活動を紹介します

#04 ありがとう！山の手高校野球部のみなさん

山の手高校野球部の皆さん

消火栓のまわりもきれいに

去る令和4年２月5日、山の手高校野球部の皆様が地域の除雪ボランティア活動を行ってくれました。約４０人の部員が町内会の中村会長より作業の説明を受け元気よく「はい！」と答え作業が開始されました。道幅を広くしたり、ゴミステーションや消火栓の周り等とてもきれいになり、地域が活気づく取り組みとなりました。スコップやスノーダンプは地域で行う除雪ボランティア活動を支援する目的とした市の除雪用具貸し出し制度を利用し西区土木センターより提供されました。
中村会長より「今年は雪がたくさん降ったのでみなさんの力に助けられました。ありがとう」との感謝の言葉がありました。
皆様お疲れ様でした。

西区第一包括エリア
生活支援推進員
（八軒、八軒中央、
琴似二十四軒、山の手担当）
庄司　美智子

この取り組みは札幌市生活支援体制整備事業の一環として、令和3年8月と１２月に開催した山の手地域懇談会（連合町内会、町内会、福祉のまち推進センター、民生委員、社会福祉協議会、まちづくりセンター、地域包括支援センター、保健師）での話し合いにより実現しました。
【第二層生活支援コーディネーター】

西区第二包括エリア
生活支援推進員
（西町、西野担当）
北村　久美子

移動スーパーがやって来た！

宮の沢町内会山側住宅地にある見晴らし公園に昨年11月から毎週金曜日の夕方、移動スーパー「とくし丸」が来ています。販売に合わせて町内会役員や民生委員の方が声掛けしたり、荷物運びを手伝ったり、降雪時には近隣の方が除雪をしてくれたりと地域の方々が支え合いの担い手としても活躍しています。週に一度のさりげない住民交流の場ができつつあります。

高齢になっても山を下りずに住み慣れた場所で住み続けたいという希望にこたえられる環境作りを今後も地域の皆さんと少しずつ進めていきます。

西区第三包括エリア
生活支援推進員
（発寒、発寒北担当）
佐藤　真美

市営住宅発寒団地買い物支援

昨年の秋、市営住宅発寒団地町内会の役員さんから、近隣の商店閉店に伴って高齢者の買い物がとても不便になったと相談を受け困りごとアンケート調査を実施しました。団地町内会の役員さん、生活支援コーディネーター、発寒北地区の関係機関のみなさんにも協力をいただき、住民との話し合いを行って、１１月から移動スーパーとくし丸に来てもらっています。週に一度、毎回１０名前後の住民が買い物に来たついでに、お話したり団地内の話や晩のおかずのレシピについて歓談しています。コロナ禍や冬期間ということもありなかなか外出できない住民のみなさんの楽しみになっているようです。

第１層コーディネーターのご紹介

札幌市生活支援体制整備事業では区ごとに、第１層コーディネーター（区全域担当）と生活支援推進員（包括支援センター地区担当）が配置されており、高齢者の方々が住み慣れた地域で生活し続けられるような仕組みづくりの支援を行っています。西区全域での活動は、区内で各種サービス等を提供する団体で構成する協議体を開催し、情報交換や今後の取組について協議をします。また、西区生活応援ボランティアグループを結成し、毎月定例会を開催しています。

西区生活支援体制整備事業
第1層生活支援
コーディネーター
（西区全域担当）
加藤　陽介

1層コーディネーターへのお問い合わせ先
社会福祉法人　札幌市西区社会福祉協議会
〒063-0812　札幌市西区琴似2条7丁目西区役所１階　TEL 011-641-6996　FAX 011-611-6620

生活支援推進員（第2層生活支援コーディネーター）

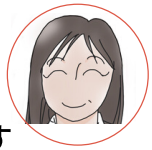
地域の高齢者が、住み慣れた地域でいつまでも安心して暮らせるよう、支え合いの体制を整える役割をもっています

教えてください

◆地域の素敵な取り組み
◆ちょっとした困りごと
◆まちづくりアイディア

みんなでいっしょに考えよう

住民や各機関と連携して話し合いの場をつくります



応援します

支え合いのボランティア活動

発行・お問い合わせ先
受託法人　特定非営利活動法人
ワーカーズコープ
札幌市北区新琴似2条6丁目４－１９
（地域交流拠点ピリカ内）
TEL　011-792-5524　FAX　011-792-6001